

核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)とは

核都市広域幹線道路とは、圏央道と外環道の間に並行するように位置し、神奈川、東京、埼玉、千葉を相互に連絡し、これらの交流・連携を促進する広域道路ネットワークを形成する高規格道路として調査中の道路です。

外環道(三郷南～高谷)開通後の交通状況変化等に対応し、埼玉県南部における慢性的な混雑を改善し、物流施設の立地や人口集積が進む圏央道と外環道間の東西方向の連携を強化する観点から、埼玉新都心線～東北道付近間を優先検討区間と位置付け、核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)地元検討会を設立し検討を進めています。

計画の位置付け

埼玉県東西軸道路検討会(令和3年12月10日)のとりまとめ(案)

- 求められるサービスレベル: 多車線の自動車専用道路
- 概ねの起終点(優先検討区間)
 - ・起点はさいたま見沼IC、終点は東北道(浦和IC～岩槻IC間)付近とする。
- 配慮事項等:
 - ・概略計画の検討にあたっては、地域の重要な区域・施設を把握し、見沼田んぼを始め生活環境、自然環境、歴史・文化資源等に配慮する。
 - ・このためさいたま市が中心となり、国や埼玉県とも連携し、道路の必要性等について地域住民の理解を得られるよう、積極的に取り組む。
 - ・国、埼玉県及びさいたま市は、周辺道路管理者の東日本高速道路(株)及び首都高速道路(株)と調整しながら、今後の検討を進めていく。



※ 矢印は具体的なルートを示したものではありません。

【凡例】

高規格幹線道路等	
開通済	4車線以上2車線
事業中	
直轄国道	
開通済	4車線以上2車線
事業中	
補助国道	
開通済	
東西軸	←→



周辺道路の課題

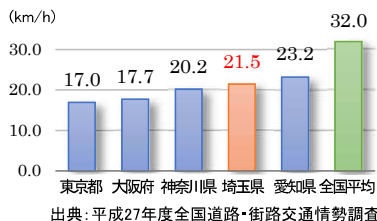
事務局(国土交通省、埼玉県、さいたま市)では、埼玉県圏央道以南地域における課題として以下の7項目(「渋滞」、「事故」、「企業進出・人口増加」、「生活環境」、「災害」、「医療連携」、「観光」)を挙げており、課題を解消するために新たな道路として、核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)の計画検討を行っております。

地域のみなさまとのコミュニケーションを通じ、課題として挙げている下記7項目や普段生活している中で考えている交通課題について、率直なご意見をいただいたうえで、計画検討を進めています。

渋滞

- 埼玉県は混雑時旅行速度が全国ワースト4位です。
- 外環道(千葉県区間)の開通後の交通変化により、外環道(埼玉県区間)の渋滞損失時間は約3.4倍となっています。

■都道府県別混雑時旅行速度



■渋滞損失時間の変化(自動車専用道路)

地域	開通前 (平成30年)	1年後 (令和元年)	2年後 (令和2年)	3年後 (令和3年)
外環道	4.4 万人時間/年km	15.1 万人時間/年km (平均の2.5倍)	8.8 万人時間/年km (平均の1.5倍)	13.6 万人時間/年km (平均の1.7倍)
埼玉県 平均	4.6 万人時間/年km	6.1 万人時間/年km	5.8 万人時間/年km	8.0 万人時間/年km

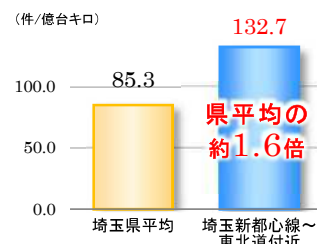
出典:平成27年度全国道路・街路交通情勢調査、ETC2.0プローブ

事故

- 埼玉新都心線～東北道付近の死傷事故率は、約132.7件/億台キロで県平均の約1.6倍です。

■死傷事故率

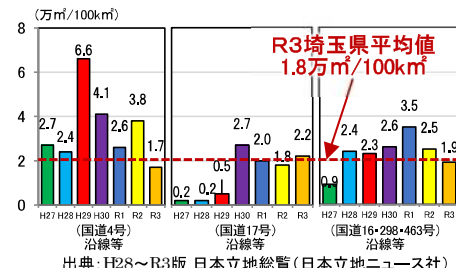
埼玉新都心線～東北道付近



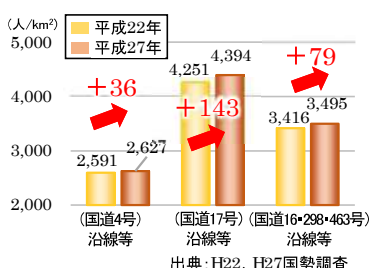
企業進出・人口増加

- 物流施設の新規立地は、近年、国道17号沿線や国道16・298・463号沿線で県平均を上回っています。
- 各路線沿線では、人口密度が増加しています。

■平成27年以降の新規企業立地計画の推移



■沿線における人口動向



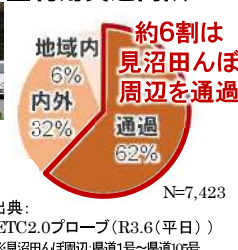
生活環境

- 見沼田んぼ周辺の生活道路は、通勤・通学時間帯等に抜け道として利用されています。
- 抜け道を利用する交通のうち、約6割は見沼田んぼ周辺を通過しており、生活交通(地域内・内外)との錯綜が生じています。

■見沼田んぼ周辺道路の交通状況



■利用交通内訳



災害

- 近年、埼玉県では風水害に見舞われており、さいたま市内でも大規模な被害が発生しています。
- 防災拠点が集積するさいたま市中心部と、南北方向に縦貫する第一次緊急輸送道路を結ぶ、東西方向のネットワークが脆弱です。

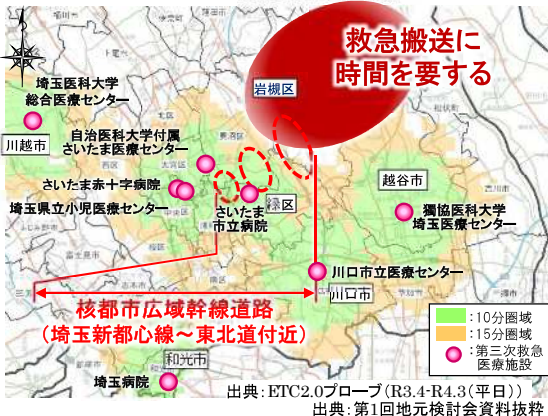
■緊急輸送道路と防災拠点



医療連携

- 埼玉県の救急搬送人員は、平成23年から令和元年にかけて約1.2倍に増加しています。
- さいたま市岩槻区や緑区の一部等では、第三次救急医療施設への救急搬送に時間を要しています。

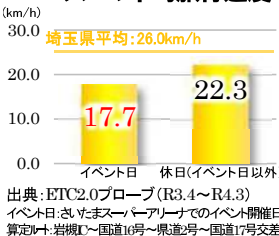
■第三次救急医療施設と到達圏域



観光

- さいたま市内の国道17号沿線付近には、国際会議場や寺社・仏閣、博物館等の主要な集客施設が集中するエリアが存在しています。
- 東北道岩槻ICから当該エリアへのルート上は、休日・県平均未満の速度低下が発生し、イベント時は更なる速度低下が発生しています。

■岩槻IC～主要な集客施設が集中するエリアの平均旅行速度

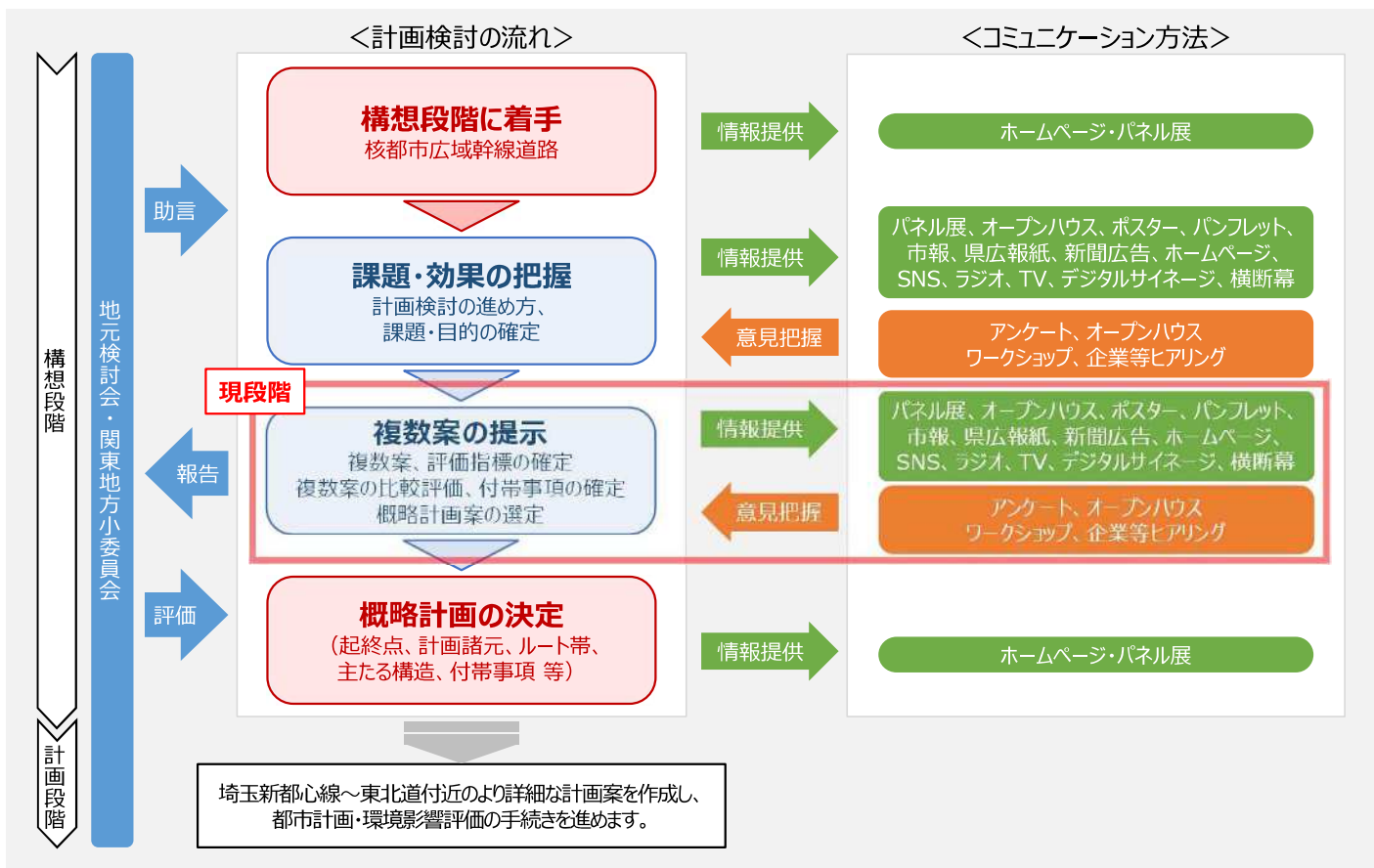


コミュニケーションを重ねながら段階的に検討を進めます ～核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)計画検討の進め方～

核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)では、構想段階における道路計画策定プロセスを通じて概略計画を策定します。道路計画策定プロセスとは、透明性、客観性、合理性、公正性の向上を図るため、地域のみなさまとの密接なコミュニケーションを通じ、地域の理解や協力を得ながら概略計画を策定するプロセスです。

核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)の計画検討は、段階的に検討を進め、その都度様々な方法で地域のみなさまとのコミュニケーションを重ね、ご意見や地元検討会からの助言を踏まえながら進めます。

計画検討の進め方



情報提供と意見把握の方法

オープンハウス (OH)

実際に足を運んでいただき、パネル展示を中心とした情報提供・意見把握を実施

《オープンハウス実施イメージ》



R5年度の実施風景：岩槻駅自由通路

ワークショップ (WS)

参加者を公募(抽選)し、議題に沿って意見交換を実施

《ワークショップ実施イメージ》



R5年度の実施風景：緑区役所

アンケート

地域のみなさまを中心に幅広く意見募集を実施

ホームページ (HP)

国土交通省、埼玉県、さいたま市のHPIに計画の進捗などの情報を掲載

核都市 ポータルサイト



複数案(ルート帯・主たる構造)を設定しました ～地域・道路の課題解消に向けた複数案の提示～

【課題・効果の把握】にて地域のみなさまからいただいたご意見などを踏まえて、核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)の「複数案(ルート帯・主たる構造)」を2案設定しました。主たる構造については、求められるサービスレベルを満たし、地域への影響を抑えることを念頭に検討しました。

前回

課題・効果の把握



下図：国土地理院地図を加工して作成



下図：国土地理院地図を加工して作成

地域や道路の課題解消のため、2つの案を設定しました

今回

複数案の提示



下図：国土地理院地図を加工して作成

ルート帯案	ルート帯案の概要	主たる構造案
案① 北側ルート	埼玉新都心線・さいたま見沼ICと東北道を最短で結ぶルート帯 比較的見沼田んぼを通過する延長が短く、自然環境等の影響を抑えられる	
案② 南側ルート	住宅地を極力回避した支障物件が少ないルート帯 比較的住居地域を通過する延長が短く、住居環境への影響を抑えられる	

地域のみなさまのご意見を計画案に反映します ～計画に関するコミュニケーション活動の実施～

より良い計画案を作成するために、地域のみなさまへ積極的に情報発信を行い、意見を広くお聞かせいただいたうえで検討を進めてまいります。今後は情報の提供や地域のみなさまのご意見を聞くために、オープンハウス(OH)やワークショップ(WS)の開催、および、アンケートの実施を予定しています。

オープンハウス(OH)やワークショップ(WS)の日程や開催場所については、「核都市広域幹線道路ポータルサイト」などで随時お知らせします。

オープンハウス (OH)

みなさまのご意見を幅広くお聞きするための場として、オープンハウス(パネル展示を中心とした情報提供・意見把握)を開催します。オープンハウスでは、パネルを展示した会場でスタッフが個別に説明しご意見やご疑問を直接伺います。ご自由に参加できますので、お気軽にご来場ください。

ワークショップ (WS)

みなさまで話し合いながら、複数案(ルート帯・主たる構造)・評価項目案に関するご意見やアイデアをとりまとめていく、ワークショップ(複数案についての意見交換)を開催します。

ワークショップ参加希望の方は、【12/23(火)】までに右記のQRコードからご応募ください(抽選※1)。

※1 抽選結果は、当選された方のみにご連絡いたします。

【応募条件：さいたま市内在住、在勤又は在学中で、18歳以上の方】



■ 会場位置図



■ 開催スケジュール

※2 参加には当日の観戦チケットが必要です。試合前の開催となります。
※3 学校関係者以外で参加の方は守警室で入校手続きをお願いします。

No	オープンハウス会場	実施日時
1	埼玉県庁 オープンデー・第二庁舎南西側(浦和区高砂)	R7.11.14(金) 10時～16時
2	埼玉スタジアム※2 南門内(緑区美園)	R7.12.06(土) 11時～14時
3	イオンモール浦和美國 2階通路部(緑区美園)	R7.12.07(日) 10時～15時
4	芝浦工業大学 大宮キャンパス※3 2号館下ピロティ一部(見沼区深作)	R7.12.17(水) 10時～15時
5	片柳コミュニティセンター 1階ロビー(見沼区片柳)	R7.12.23(火) 10時～15時
6	大宮図書館(大宮区役所内) 1階展示スペース(大宮区吉敷町)	R8.01.07(水) 10時～15時 R8.01.08(木) 10時～15時
7	緑区役所 1階区民ホール(緑区大字中尾)	R8.01.13(火) 10時～15時
8	浦和美國駅 自由通路(緑区美園)	R8.01.14(水) 15時～20時
9	見沼区役所 1階多目的室(見沼区堀崎町)	R8.01.15(木) 10時～15時
10	浦和駅 中ノ島地下通路(浦和区高砂)	R8.01.16(金) 15時～20時
11	けやきひろば 1階 エレベーター横(中央区新都心)	R8.01.17(土) 10時～15時
12	シニアふれあいセンター和楽荘 軽食スペース(緑区三室)	R8.01.19(月) 10時～15時
13	岩槻南部公民館 1階学習図書室(岩槻区笹久保)	R8.01.21(水) 10時～15時
14	七里駅 自由通路(見沼区大字風渡野)	R8.01.23(金) 15時～20時
15	岩槻駅 自由通路(岩槻区本町)	R8.01.24(土) 10時～15時

No	ワークショップ会場※4	実施日時
1	片柳コミュニティセンター(見沼区片柳)	R8.01.28(水) 14時～
2	ふれあいプラザいわつき(岩槻区東岩槻)	R8.01.30(金) 18時～
3	シニアふれあいセンター和楽荘(緑区三室)	R8.02.02(月) 10時～

※4 ワークショップは事前の応募が必要です。

アンケート (令和7年10月31日(金)～令和8年3月31日(火))

本アンケートは、複数案(ルート帯・主たる構造)・評価項目案について、みなさまのご意見を幅広くお聞きするものです。オープンハウスやワークショップに参加できなかった方を含め、より多くの方からのご意見をお待ちしております。

アンケートは、右記のQRコードまたは下記の回答フォームからご回答いただけます。

回答はこちらから▼



■ アンケート回答フォーム : <https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf4riMKtx-BxQCQVPGXMMoxnR1ng1EnxrH9-J7NwTXdA0z8zw/viewform>

核都市広域幹線道路 ポータルサイト

『核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)』に関する情報をお知らせする専用のポータルサイトを開設しています。

計画の進捗や検討会の実施状況、今後のコミュニケーション活動の詳細等については、右記のQRコードまたは下記のリンクよりご確認ください。

■ 核都市広域幹線道路 ポータルサイト : https://www.ktr.mlit.go.jp/oomiya/oomiya_index070.html

ポータルサイト▼

